

## 【2020年 日本医療催眠学会大会中止のご案内】

本年度の日本医療催眠学会大会長を拝命いたしました理事の藤原万梨子と申します。

この度の新型コロナウイルス感染症が拡大している現状を踏まえまして、理事会で協議の上、誠に残念ではございますが、2020年日本医療催眠学会大会の開催を中止する判断に至りました。会員皆様におかれましては、何卒ご理解、ご了承いただけますようお願い申し上げます。

この状況を克服するために東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学 橋本英樹教授は、「創発性をいかに信じて動けるか」とおっしゃっています。

「現在、われわれが目前にしている状況は、医師がワクチン等をひとさじつければ解決するようなものでも、体外式膜型人工肺を4000台用意すれば大丈夫だというようなものでもありません。一般の方々には見えにくいのですが、1人1人がしっかりと動いていくと、1人1人の力ではできないことが集団であればつくることができるということです。最近はやりの言葉でいえば、創発性(Emergence)です。このことを、いかに信じて動けるかなのです。」

この意図を超えたイノベーションが一日も早く収束されること、皆様のご健康を心から願っております。

日本医療催眠学会2020年大会 大会長 藤原万梨子